

事業名	令和3年度わかもの建築職人育成事業					
講習名	①第1回 教えて！建設業(高校生対象)			②第2回 やらうぜ！建築職人(一般求職者対象)		
実施期間	<STEP1>入門講習(3日間) ・兵庫 令和3年6月19日(土)、20日(日)、26日(土) ・大阪 7月10日(土)、11日(日)、17日(土) <STEP2>夏休み☆職人体験(5日間) ・Aコース 軀体系職人体験5日間 令和3年7月28日(水)～30日(金)、8月5日(木)～8月6日(金) ・Bコース 仕上系職人体験5日間 令和3年8月2日(月)～8月6日(金) <STEP3>資格取得(選択制) 講習機関へ各自申し込み(協力:キャタピラー教習所株式会社)			令和4年3月8日(火)～3月31日(木) 19日間		
講習経費	4,500,000円(実費概算)			6,500,000円(実費概算)		
合格者数	入門講習50名(うち女性12名)／夏休み16名(うち女性6名)			9名(うち女性4名)		
参加者年齢 ()はうち女性	10代	50名(12名)	20～29歳	2名(2名)	30～39歳	名(0名)
	40～49歳	6名(2名)	50～59歳	0名(0名)	60歳以上	0名(0名)
参加者応募ルート ()はうち女性	ハローワーク	7名(3名)	建設現場の看板	1名(1名)	街頭CM	0名(0名)
	おしごと体験会	5名(2名)	デジタルサイネージ	0名(0名)	パンフレット	0名(0名)
その他(学校の先生から紹介 50名・建設企業から紹介 0名・知人からの紹介 0名・親族からの紹介 1名)						
カリキュラムの特徴	<ul style="list-style-type: none"> 建設業や建築がはじめての方でも取り組みやすいように、3段階カリキュラムとする(Step1入門講習 → Step2職人体験 → Step3資格取得) 職人体験は建設現場で講習を行い、建築の専門工事業12職種の基礎技能を学ぶ 講習期間中に就職活動(会社説明会)を行う ※ただし、令和3年8月6日開催予定であった会社説明会は、緊急事態宣言が発出された為、急遽、開催を中止した。 					
参加者の感想	<募集> ・高校の先生が紹介してくれたので、安心して入門講習に申し込みすることができた ・ハローワークでの「おしごと体験会」に参加した際に無料職業訓練を知った。もともと建設に興味があったので、すぐに申し込みをした。 <職人体験> ・建設現場で働く職人さんに、直接質問したり詳しい話を聞くことができ、貴重な体験となった。 ・建設業は未経験だったが、講師の皆さんが丁寧に教えてくれて有難かった。 ・求人票では分からない部分を、実際に自分の目で見たり聞いたりできるので良かった。 ・自分と同様に、これから建設業で仕事をしようとしている人たちと一緒に講習することで、必然的に仲間意識が芽生えて楽しかった。 ・体力面で不安があったが、実際に建設現場で講習をしてみて確かにしんどい面もあったが、逆に自分にも出来ると思える部分もあった。 ・頭でイメージするのと、実際にやってみるのでは良い意味で全然違った。これからの自分自身の就職活動に非常に役に立つと思う。 ・就職するための職種を決断するには、講習期間が短かった。興味を持った職種(会社)での職場実習なども取り入れてほしい。 ※別紙、体験職種ごとの参加者アンケートあり <資格取得> ・無料で資格取得が出来るので、今回、絶対に一発合格したいと思い頑張った。 ・建設現場で働くために必要な資格がたくさんあることが分かった。内定が取れたら、STEP3で資格取得の申請をしたいと思う。 <就職支援> ・会社説明会では、1日で複数の会社の話を聞くことができ、これからの就職活動がスムーズにできると思った。 ・自分の希望勤務地の会社が少なかったため、二次面接までは進めなかった。 ・せっかく12職種の職人体験をするので、各職種から最低1社は参加してくれると嬉しい。 ・自分は施工管理(技術者)ではなく職人(技能者)志望なのに、技術者しか雇っていないという求人があったので残念に思った。 ・講習が終わってすぐに、二次面接をしてもらい内定もいただけた。まさかこんなにすぐに就職できるとは思っていなくて嬉しい。					
今後の課題	<募集> 次世代を担う若者へ向けて建設・建築をPRしていくために、「わかものハローワーク」、「学卒部門」、「高校」との連携を強める <職人体験> 進みたい職種をある程度決めている求職者に対して、今より柔軟なカリキュラムを検討する <受講生> 職業訓練だけで終わらず、就職支援の一環として個人面談等の時間をしっかり取り、出口(就職)サポートを手厚くする <資格取得(選択制)> 今年度から、修了生の就職先(内定先)の職種(業務)に必要な資格を取得してもらうように変更した、次年度も同様とする <就職支援> 引き続き、大阪労働局や各ハローワークと連携しながら、「講習」と「就職支援」がワンパッケージになった”建設業への入口”を模索する					